

SSKS

2023. 2月号

No. 547

せんかわだより

～あるがままに あたりまえに～



自分の仕事に誇りをもって



【働く場所は違えども、誇りをもって働いています】

当法人の就労継続支援B型事業所（チャレンジャー、武蔵境ワーキングセンター、ワークイン関前、八幡作業所）の平均出勤率は95.8%。感染症等の影響がなければ、98%を超えています。

この出勤率の高さは、一人ひとりの利用者が「働く」ことに真摯に向かい、とりくんでいる証です。自分の役割があり、責任がある。仲間とともにひとつの目標に向かう喜びと達成感、彼ら彼女らにとって自信と誇りにつながっているのかもしれない。

今日も明日も、そしてその先もずっと、この誇りを胸に一人ひとりの「働く」を実現していくことでしょう。



社会福祉法人 武蔵野千川福祉会

<http://www.musashino-senkawa.com>



成長や活躍の広がりを支援する ～ 働くことを通して ～

武蔵野千川福祉会が進めてきた ～働く場づくり～

当法人の働く場づくりは、1976年から始まりました。

当時の養護学校卒業後の進路は、「在宅」という選択もあったと聞きます。

社会の中に居場所をつくる必要であった時代において、当法人は障害のある人の「働く場」を地域につくるのが大切であると考え、働く場づくりに力を入れてきました。

働く場を地域につくり、地域の中に障害のある人の働く姿が根付く。

法人の理念に掲げられている「あるがままに、あたりまえに」を追求するための第一歩だったのではないのでしょうか。

そして、この働く場づくりは、令和になった現在も引き継がれ、歩みを止めることなくとりくみを進めています。こうして、「働く場」は現在、『就労継続支援B型事業所』としてチャレンジャー・武蔵境ワーキングセンター・ワークイン関前・八幡作業所の4カ所となり、約90人の利用者が、毎日休まず通所して、地域の中で日々働く姿を見せてくれています。

「働くこと」への支援をする

「働く場」をつくり、場の定着をした次にとりくんだのは、「働くこと」への支援です。

「働くこと」への支援の第一歩は、まず毎日安定して働くことができるように利用者と職員との丁寧な関係づくりから始まります。

さらに、その関係をもとに集団づくりを進めます。その中で利用者個々が力を発揮できる役割分担を行うのです。



【できることは続け、できることを増やします】

そのような集団の中で、安定して働き続けると、さらにできることが増えていきます。そして、できることが増えた結果、働くために必要な生活習慣や働く態度が身につくようになります。これらの支援を一つひとつ丁寧に進めていくことが必要だと考えています。

この考え方は、法人設立当初から始まり、現在も支援の基本姿勢として脈々と受け継がれています。

集団における大切な役割

ところで、毎日安定して働くために大切なこととは、どのようなことでしょうか。

気の合う仲間がいることでしょうか？ 工賃をたくさん得ることでしょうか？

これらも大切なことかもしれませんが、毎日安定して働くためには、働く場において、自分のやるべきことがわかり、やるべきことをやり続けることが大切であると考えています。

武蔵境ワーキングセンターでは、安定して働くことを支援するために、わかりやすい環境をつくり、利用者一人ひとりの役割づくりをしてきました。「どこで」「なにを」をすればよいのかを視覚的に示し、職員と一緒に一日の予定の打ち合わせを行うことで、一人ひとりのやるべきことを確認しています。そ

して、利用者一人ひとりの力に見合った役割を提供しています。

ここで事例の一つを紹介したいと思います。

Aさんは通所歴22年目、休まず通所し、作業もいろいろなことができます。ですが、朝の通所時間がだんだんと安定しなくなってきました。

そこで、朝に必要な役割である、昼食の注文を取るという役割を担ってもらうことにしました。まず環境として、注文を取る場をつくりました（Aさんが使用する注文用の机を用意）。

そして、Aさんがその場所で、他の利用者から注文を取るという役割です。役割を担い始めた時は、決められた時間に注文場所に来ることができませんでした。ですが、注文が取れた時には、利用者の皆から「今日はAさんいるね!」「これからもよろしく!」「いないと、困るよ。」などの声をかけられ、皆とのやり取りに応える姿が見られました。

このようなやり取りをくりかえしていく中で、他者から評価されたり、役割を担い、その責任を果たすことができたという達成感を得たことで、朝の通所時間が安定するようになってきました。その結果として、その後の作業時間でも安定して作業にとりくむことができるようになりました。

このように私たち職員は、利用者一人ひとりの成長や発達を常に考え、支援をしています。

今回の事例では、安定した通所を続けるために、集団の中で新たな役割を提供したことで、安定して働くことにつながったと感じています。



【一人ひとり、なくてはならない存在です】

一人ひとりの「働く」を実現する

今年度、武蔵境ワーキングセンターを含めた就労継続支援B型事業4事業所で学習会を開催してきました。その中で環境づくりや職場づくりを進め、4事業所の機能を明確にすることで利用者の働く力に応じた支援にとりくんできました。

これまでのとりくみも活かしながら、より丁寧に支援を進め、利用者一人ひとりの「働く」を実現させていきたいと考えています。

そのためには、成人期以降も成長し続け、活躍の幅を広げることができるように、将来を見すえて支援していくことが必要です。

- ① 成人期に必要な経験を具体的に示してとりくみます
- ② できることは続け、できることを増やすためのとりくみを体系化します
- ③ 生活習慣や働く態度の育成を具体的に示します

成人期には、障害の程度にかかわらず誰もが「働くこと」を経験してほしいと願っています。「働くこと」を通して、できることが増えるようにとりくみ、利用者の成長や活躍の広がりを支援します。そして、必要な生活習慣や働く態度の育成を具体的に示し、利用者一人ひとりの「働く」につなげていきたいと考えています。

支援方法を具体的かつ体系的に進めていくことで、働く場所や働く内容が変わっても、年齢を重ねてライフステージに変化があっても、一人ひとりの「働く」が実現されるのだと思います。

そして利用者一人ひとりの働く姿を、社会の中で築き続けることができるように、これからも日々の実践に励んでいきたいと思っています。

（武蔵境ワーキングセンター 佐藤 資子）

ご寄付をいただきありがとうございます

長田 清英 様 谷 義雄 様 佐藤 徹 様
正田 健三 様 鈴木 昇 様 小堤 昭 様
ヘアサロン アンドウ 様 東京第三友の会吉祥寺エリア 様 （順不同）

歳末たすけあい地域福祉活動募金 ご報告

894,526円

皆さまのあたたかいご支援、ご協力ありがとうございました。
お預かりした大切な募金は全額が武蔵野市の地域福祉のために活用されます。



社会福祉法人 武蔵野千川福祉会

<http://www.musashino-senkawa.com>

< 生活介護事業所 >

◆ 千 川 作 業 所	〒180-0011	武蔵野市八幡町4-28-13	TEL 0422(55)3826
◆ ワ ー ク イ ン 中 町	〒180-0006	武蔵野市中町2-6-5	TEL 0422(27)7519
◆ な な ほ し ワ ー ク ス	〒180-0022	武蔵野市境2-11-3-101	TEL 0422(38)8083
< 就労支援事業所 >			
◆ チ ャ レ ン ジ ャ ー	〒180-0023	武蔵野市境南町4-20-5	TEL 0422(30)3010
◆ ワ ー ク イ ン 関 前	〒180-0014	武蔵野市関前3-41-16	TEL 0422(37)6266
◆ 武蔵境ワーキングセンター	〒180-0023	武蔵野市境南町3-10-1	TEL 0422(33)1708
◆ 八 幡 作 業 所	〒180-0011	武蔵野市八幡町4-5-5	TEL 0422(27)8390
◆ 武蔵野市障害者就労支援センターあいる	〒180-0023	武蔵野市境南町2-5-8-102	TEL 0422(26)1855

< ショートステイ/ミドルステイ/自立生活体験事業 >

◆ 桜 は う す ・ 今 泉	〒180-0021	武蔵野市桜堤1-5-1	TEL 0422(54)1187
◆ 井 の 頭 は う す	〒180-0003	武蔵野市吉祥寺南町4-21-17	TEL 0422(46)7707

< 児童発達支援事業 > < 放課後児童健全育成事業 > < 放課後等デイサービス事業 >

◆ 千川おひさま幼児教室	〒180-0011	武蔵野市八幡町4-28-13	TEL 0422(51)4008
◆ 千川さくらっこクラブ			
◆ 千川さくらんぼクラブ	〒180-0011	武蔵野市八幡町2-5-3 北ホール1階	TEL 080(5458)9175

< 共同生活援助（グループホーム） >

◆ 天の薔寮	◆ 第一桜寮	◆ 第二桜寮	◆ 境南葵寮	◆ 吉祥寺泉寮	◆ 関前上水寮
◆ 相談支援事業所 せんかわ					

< 発行人 > 特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会 東京都世田谷区福形3-1-17-102 TEL 03(6277)9611

< 編集人 > 社会福祉法人 武蔵野千川福祉会 東京都武蔵野市境南町4-20-5 TEL 0422(30)0022 定価 50 円